

令和3年度指定管理者モニタリング結果

施設名・住所	千歳市営牧場・育成畜舎（千歳市駒里1032番地の1ほか）
指定管理者	公益財団法人道央農業振興公社
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5か年の5年目）
評価担当	産業振興部 農業振興課

1 実施事業及び内容等	・育成牛の通年管理 放 牧 5月15日～10月15日（154日間） 育成畜舎 4月 1日～5月14日、10月16日～3月31日（211日間） ・預託牛の入退牧業務 ・預託牛の健康管理及び授精に付帯する業務 ・採草地、飼料畑の生産管理に関する業務 ・農業機械及び牧場施設の管理業務 ・市営牧場利用料の徴収業務 ・管理報告業務 等
2 年間利用者数	5月の入牧頭数は令和2年度から27頭増加したが、継続牛が82頭減少したことにより、5月末の在頭数は55頭減少し、385頭となった。令和2年度から夏季入牧を中止していることにより年間利用数（延受入日数）は前年比で8.1%の減となった。 主な利用状況（ ）は令和2年度実績 ・預入酪農家戸数 18戸（18戸） ・5月在頭数 385頭（440頭）、育成畜舎頭数 266頭（295頭） ・延受入日数 99,595日（108,429日） 8,834日減 ・管理施設の利用状況【資料1】
3 事業収支 <決算状況（税込）>	【資料2】（ ）は令和2年度実績 ・収入合計 43,865,172円（45,910,580円） 主な内訳 指定管理料 21,218,683円（21,218,683円） 利用料金 22,274,570円（24,378,290円） ・支出合計 45,351,045円（45,515,590円） 主な内訳 人件費等 20,824,153円（20,007,580円） 原材料費 11,038,581円（11,023,617円） ・収入－支出 1,485,873円（394,990円） 収支差額の主な要因 （収入減）・利用料金の減 対前年度 2,103,720円 （支出増）・人件費等の増 対前年度816,573円 ・燃料費の増 対前年度565,563円
4 管理運営状況	・公共牧場の有効活用を図ることを目的として利用者で組織する千歳市営牧場利用者協議会や石狩農業改良普及センター等の意見を聞きながら、配合飼料の適切な給餌を行い、良好な栄養状態となるよう努めている。 ・管理人住宅に職員1名を常駐し、緊急時の連絡体制を整えている。 ・電気牧柵による放牧地の分割管理を行い、効率的な運用を図っている。 ・専門機関である石狩農業改良普及センターやみなみ北海道農業共済組合（現、北海道農業共済組合）、北海道石狩家畜保健衛生所と連携し、良好な飼養衛生管理や健康管理に努めている。
5 自主事業の達成状況	・防疫上の観点から自主事業は実施していないが、酪農学園大学獣医学類からの実地研修を受け入れるなど、公共牧場として獣医師の育成に貢献している。

6 市民サービスの向上を図るための取組み	・「千歳市営牧場利用者協議会」において、次のとおり意見があった。 発育不良の牛へのケア。 配合飼料の適切な給餌の継続。 これらの意見を反映し、配合飼料の適切な給餌を継続するとともに、入牧当初からの発育不全・栄養不良等を解消するため、獣医の指導を仰ぎ対象牛のみ給餌量を増やすなど個別の対応を強化し、発育不良を改善している。 ・預託希望頭数が増加していることから、令和2年度より8月入牧を中止しており、利用者の希望に応えられるよう、適正な管理に努めた。 ・飼料用の牧草生産について、乾燥期間を短縮できる牧草ラップサイレージの比率を高め、正品率が向上したことにより、預託牛の増加にも対応できている。
7 評価 ＜総合コメント＞	・コロナ禍2年目において、職員の感染防止に努めながら牧場の適正な運営管理を実施した。 ・人材を適切に配置し、繁忙期や緊急時の体制を整えている。 ・放牧地の分割管理や飼槽配置の工夫など、施設の有効活用や効率的な運用に取り組み、利便性の向上に努め、受入希望頭数の増加にも対応できている。 ・良質な飼料の確保や必要量が確保できる対策を講じ、受入環境の向上に努めている。 ・給餌方法の見直しや栄養状態に応じて個別給餌するなど、きめ細かいサービスの提供に取り組んでいる。 ・職員研修を実施し、飼養管理技術の向上に取り組むとともに、関係機関と連携をとりながら、利用者が安心して預託できる牧場の運営に努めている。経験が浅い職員には業務経験や研修を通じ、さらなる技術の向上を期待する。 ・市で実施した利用者アンケートにおいて、「市営牧場を利用して満足していますか。」という質問に対し、昨年度と比べ、「満足」という回答が0名から3名（「まあ満足」を含めると5名から6名）となっているなど利用者から概ね満足しているとの回答を得ていることから、適正に管理運営がなされていると評価できる。【資料3】 ・牧場管理職員は、日頃から、入・退牧や検査時、その他利用者とは様々な機会において、意思疎通を綿密に行っており、利用者の声を聞きながら管理運営にあたり利用者との信頼関係を築くとともに、満足度を高めているものと評価できる。

管理施設の利用状況

月	令和3年度			
	月初在頭数	入牧頭数	退牧頭数	月末在頭数
4	167	0	27	140
5	140	339	94	385
6	385	0	18	367
7	367	0	17	350
8	350	0	10	340
9	340	0	10	330
10	330	0	64	266
11	266	0	12	254
12	254	0	22	232
1	232	0	17	215
2	215	0	8	207
3	207	0	39	168
計		339	338	

管理経費の収支状況（税込）

【収入】

（単位：円）

項 目	内 訳	金 額	備 考
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	21,218,683	
使用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	22,274,570	
雑収入	貯金利息	119	
	デントコーン種子奨励金	148,500	
	配合飼料市況対策費	223,300	
	収 入 合 計	43,865,172	

【支出】

項 目	内 訳	金 額	備 考
人件費等	給料手当	13,137,150	
	臨時雇賃金	4,994,484	
	法定福利費	2,645,728	健康保険、厚生年金等
	福利厚生費	46,791	職員健診費等
	小 計	20,824,153	
修繕費	農業機械修理	1,038,041	ブラウ、レーキ、テッター等修理
	トラクター等車両修理	843,427	
	小 計	1,881,468	
賃借料	自走給餌車	38,214	自走給餌車リース料
	借上車両・農機具他	134,455	自家用車借上げ、ハイダンブワゴン借上げ等
	小 計	172,669	
車両費	車両費	739,365	農業ダンプ、家畜運搬車車検代等
	車両任意保険料	121,640	農業ダンプ、トラクター等任意保険料
	小 計	861,005	
施設管理費	機械警備料	264,000	警備保障
	消防設備点検	55,000	消防
	小 計	319,000	
原材料費	肥料・種子	10,316,361	肥料、種子、除草剤等
	薬品他	706,380	ケリンカ等
	貯蔵品	15,840	
	小 計	11,038,581	
会議費		16,817	入牧前検査時の飲料水等
通信費		139,939	光通信、携帯電話、郵送料等
印刷消耗品費		322,703	作業服、コピー、事務用品等
水道光熱費		1,077,069	電気、水道、LPG等
燃料費		2,255,800	軽油、灯油、ガソリン等
租税・公課		400	印紙、証紙代
負担金		15,000	公共牧場会負担金
飼料費		2,341,185	鉱塩・配合飼料購入
手数料		150,370	免軽申請、廃プラ処理等
委託料	千歳市営牧場に係る調査業務	1,292,500	NOSAIみなみ業務委託料
消耗備品費		301,853	カラス対策機材等
雑費		24,443	職員募集チラシ折込料ほか
保険料	損害賠償責任保険	110,190	
消費税		2,205,900	
	支 出 合 計	45,351,045	

【収入】 - 【支出】

▲ 1,485,873

千歳市営牧場・育成畜舎の運営に関するアンケート調査結果【千歳市が実施】

1 アンケート回答率（調査件数 18 件 令和 4 年 4 月実施）

・回答数 12 件 ・回答率 66.7 %

2 アンケート結果

（ 1 ） 令和 3 年度は千歳市営牧場に何頭預けましたか。

0 頭～ 20 頭 [5] 21 頭～ 40 頭 [4] 41 頭～ 60 頭 [3]
60 頭以上 [0]

（ 2 ） 預けて戻ってきた牛の状態はいかがでしたか。

満足 [0] まあ満足 [3] ふつう [6] やや不満 [1]
不満 [2]

「やや不満」、「不満」の理由

- ・市営牧場出身の牛について、分娩時に事故が続いた。
- ・とても痩せている。
- ・妊娠できなくて戻った牛が、戻ってから 1 週間ぐらいエサを食べなく、食い負けしているようだった。

（ 3 ） 夏季入牧を中止しましたが、感想をお聞かせください。

よく理解する [2]
まあまあ理解する（やむを得ない） [7]
何とも言えない [2]
あまり理解できない [1]
理解できない [0]

（ 4 ） 市営牧場を利用して満足していますか。

満足 [3] まあ満足 [3] ふつう [4] やや不満 [1]
不満 [1]

「やや不満」、「不満」の理由

- ・受精報告の一覧が更新されない。
- ・利用料を上げてもいいので、管理を良くしてほしい。

（ 5 ） 利用者からの意見、要望。

- ・牛が死亡した場合や酷いケガをしたときは、場長が説明に来なければ信頼が持てない。
- ・配合飼料が高いので、他メーカーを検討してほしい。
- ・利用料金の支給、管理表、退牧届等、希望する農家には P D F ファイルや E x c e l ファイルを使ってメールで送信できるよう対応してほしい。
- ・平成 30 年度から飼料代の負担をして配合飼料を増やしたが、1 頭当たりどれだけ増えたのかわからない。